

日本の経済思想家 期末試験

設題 I (短答式問題)

以下の①～⑳は講義資料プリント(補遺も含む)からの抜粋である。問1と問2に答えなさい。

- ① 《立国は私なり、公に非ざるなり。》
- ② 《民ノ業ニ本末トイフコトアリ……。》
- ③ 《道猶路也。人之所以往来通行也。》
- ④ 《(1)分限は、才覚に仕合手伝では成りがたし。》
- ⑤ 《実ノ商人ハ先モ立、我モ立ツコトヲ思フナリ。》
- ⑥ 《(2)先王之道。先王所造也。非天地自然之道也。》
- ⑦ 《皆武家⁽³⁾旅宿ノ境界ニテ、制度ナキ世界故……。》
- ⑧ 《農戸の減少は必しも悲しむべきことに非ず……。》
- ⑨ 《故に⁽⁴⁾転定は先後有る者に非ざるなり。惟れ自然なり。》
- ⑩ 《この失はれたる経済自治の回復を図らなければならぬ。》
- ⑪ 《いわば村も家もともに労働組織の別名であったのである。》
- ⑫ 《世界に専制の行はるゝ間は、之に対するに抵抗の精神を要す。》
- ⑬ 《自由の気風はただ多事争論の間にありて存するものと知るべし。》
- ⑭ 《属島之開業といふは、(5)日本附之島々を開きて良国となすべきをいふ。》
- ⑮ 《天下ノ知ヲアツメ、血液ヲカヨハシ、大成スルモノハ、大坂ノ米相場ナリ。》
- ⑯ 《政府は法令を設けて悪人を制し善人を保護す。是即ち政府の商売なり。》
- ⑰ 《一国一ト味方ニナリテ、他国ノ金ヲ吸ヒ取ルトハ、(6)産物マワシガ其機密也。》
- ⑱ 《金銀の用は、唯諸貨運輸の用ばかりなれば、(7)楮鈔にても、飛錢にてもすむ者なり。》

- ⑱ 《然レバ則チ世界万国ノ蒼生ヲ安ズルハ、最初ヨリ皇国ニ主タル者ノ要務タルコトヲ知ル。》
- ⑲ 《⑸近江守が申す所も、其いはれあるに似たれども、はじめ⑹金銀の製を改造らるゝ⑺ごときの事なからむには、⑩天地の災も並び至る事なからむもしるべからず。》

問 1 ①～⑲の出典を次の書名から選んで記しなさい。

書名：折たく柴の記 学問のすゝめ 佃原 郷土生活の研究法 稽古談
 経済録 経世秘策 語孟字義 混同秘策 政談
 統道真伝 都市と農村 都鄙問答 中農育成策 日本永代蔵
 弁道 文明論之概略 明治十年丁丑公論 瘦我慢の説 夢の代

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

問 2 下線部(1)～(10)に関する次の問いに答えなさい。

下線部 (1) の全文を現代語訳しなさい。

~~~~~

下線部 (2) の「先王」とは誰か？

~~~~~

下線部 (3) の「旅宿ノ境界」とはどういうことか？

~~~~~

下線部 (4) の「転定」は独特の用字だが、何を指すのか？

~~~~~  
下線部 (5) の「日本附之島々」とは具体的にどこか？

~~~~~  
下線部 (6) の「産物マワシ」を教科書的に説明すると？

~~~~~  
下線部 (7) の「楮鈔」「飛銭」とは何か？

~~~~~  
下線部 (8) の「近江守」とは誰を指すのか？

~~~~~  
下線部 (9) の「金銀の製を改造(アタマ)らるゝごときの事」とは何への批判か？

~~~~~  
下線部 (10) の「天地の災(ワザハイ)」とは具体的に何か？

~~~~~

設題Ⅱ (論述問題—白紙の場合は成績評価を「欠席」とする)

問3 答案用紙(別紙)の表面を用いて、次の問いに答えなさい。江戸時代の経済思想の大まかな流れを略述しなさい。(具体的に人名や事例を挙げる
こと。図を用いてもよい。)

問4 答案用紙(別紙)の裏面を用いて、次の問いに答えなさい。経済学との
関わりを中心に福澤諭吉と柳田國男の思想を対比的に論じなさい。

*論旨をアピールするタイトルをつけること。